

規範化と普通話水平測試

辻田正雄

[抄録]

普通話水平測試は普通話推進政策の一環として、発音が規範に合致しているかどうかはかなり厳しく評定される。そのなかで ABB 式形容詞の変調については測試の基準はあまり厳しくない。ともに規範的とされる測試の《大綱》と《現代漢語詞典》との間で注音が不統一であったり、《現代漢語詞典》の各版の間でも絶えず揺れがある。ABB 式形容詞は、口語的詞語は変調し文語的詞語は本調で読まれる傾向があるが、全体に本調で読まれる趨勢にある。これは文字の影響が大きい。測試の ABB 式形容詞の扱いは、無理のない着実な規範化を進めていこうとする政策の反映である。

キーワード 普通話、ABB 式形容詞、《現代漢語詞典》、言語政策

1. 問題の所在

中華人民共和国では建国以来、言語文字規範化工作が重視されてきた。

「普遍」、「共通」の意味から、現代漢語の共通語として「普通話」の用語が用いられ、普通話を推し広めることが一貫して提唱されてきた。その重点は 1950 年代の「推行」から 90 年代には「普及」へと移っている。つまり、中国での共通語としての普通話は着実に成果を収めてかなり定着してきていると言えよう。それゆえ、次には普通話にかんして関係者には更に高度の要求が出されるようになる。

1994 年、国家語言文字工作委員会、国家教育委員会、広播電影電視部の三者は共同で、「普通話水平測試工作进行することにかんする決定」を發布した。これはアナウンサーや語文教師等に対して一定のレベル以上の普通話を要求するもので、普通話を推し広める政策の「新しい段階での措置である」⁽¹⁾とされる。

測試は受験者の発音、語彙、語法が普通話の規範に合致しているかどうかを評価するもので、その普通話の発音を中心に行われる。その評定基準も公開されているが、かなり細かい点まで厳格さが要求されている⁽²⁾。

たとえば、《普通話水平測試要点》によれば測試の第二項は二音節の詞語を 50 題読む問題であるが、出題内容についても「儿化韻 4 以上、輕声詞語 3 以上、3 声+3 声（上+上）の詞語 2 以上、3 声+その他の声調（上+非上）の詞語 4 以上」を含めたものとし、連音変化を試験することになっている。しかも評点についても「音韻調、輕声、儿化、変調等の語音の誤りは各字 1 回につき 0.2 点の減点、語音の欠陥は 0.1 点の減点」^③と明記している。

ところがそれほど厳格さを要求しない場合、あるいは混乱が見られる場合がある。そのひとつが疊字形容詞の変調の扱いである。

測試には朗読も含まれる。その朗読の時に AA 式、ABB 式、AABB 式などの疊字形容詞の変調が問題となる。

ABB 式形容詞（ABB 型形容詞とも言う）とは、後述の例で言えば、“紅彤彤”のように単音節の形容詞 A に、BB の語が続いた形容詞である。A には“笑盈盈”のように動詞やその他の名詞のこともある^④。

萩野脩二氏は文学作品中の ABB 式形容詞の役割りに注目した。萩野氏は「新時期文学」の「新」について、その新しさのひとつとして「ABB 型形容詞の使用が多くなった」ことを指摘し、「新時期文学」期の「張潔や劉心武の ABB 型形容詞の使用が、読者に印象強く残るのは、それが作者の情調を仮託したオノマトペの象徴的用法」^⑤であることを明らかにした。

また、相原茂、韓秀英両氏は ABB 式形容詞は「専ら様態描写、情景描写をこととし、「感覚や心情といった感性的理解にかかわる」部分であり、どのような言語にも存在すると思われる「言いがたく、とらえがたき」語が「中国語にあつては ABB 型形容詞と呼ばれる語群がまさしくこれに相当する」^⑥とした。

オノマトペや感性的理解は音声と深くかかわる。ABB 式形容詞は変調が問題となるが、朗読ではどのように扱われるのだろうか。

この問題について宋欣橋は「一部の口語の中で習慣的に変調するもの、あるいは変調しなければならぬもの（…中略…）以外は、朗読のなかで変調しなくてもよい。つまり上記の状況下以外では規則に従って変調してもよいし、文字に従って本調（文字に即したもとの声調）で読んでもよい。どちらも減点しない」^⑦と述べている。

宋欣橋は国家語委普通話培訓測試中心に所属する。この説明は測試の評点の基準を明確にしたものといえる。ところが、宋欣橋は AA 式の 慢慢儿（214→211）（214→55）の変調には言及しているが、ABB 式については“慢腾腾”を例に挙げてはいるがその注音は明記していないし、あまり具体的には述べておらず説明が不十分である。

より厳格な語音を求める意見もある。

冒国华は、中央電視台のアナウンサーなどの語音が誤っていることを指摘する。ABB 式形容詞の語音については、“软绵绵”と“绿油油”を例に挙げて「（前者が）rǎnmiánmián と読まれるのは rǎnmiānmiān の誤り^⑧、（後者が）lǜyóuyóu と読まれるのは lǜyōuyōu の誤りである」^⑨

と批判する。

冒国华の所属については未詳であるが、この論文が掲載された《语言文字周报》は、国家語委と上海市語委の直接指導を受けておりその前身は《汉语拼音小報》で、文字改革と普通話普及を主たる任務とする新聞である⁽¹⁰⁾。

ともに規範を重視し、その基準を明確にすることを主旨とするものでありながらこの不統一あるいは混乱はどう考えればよいのだろうか。

本稿は普通話水平測試の ABB 式形容詞の注音を中心に現代漢語規範化問題ひいては中華人民共和国の言語政策を考察しようとするものである。

2. 普通話水平測試の朗読

朗読の測試は《普通話水平測試大綱(修訂本)》(以下《大綱》と略記)に公表されている 50 篇の作品のなかから出題される。これらの作品は散文が中心である。500 字前後が採用されているが、そのうち // 印がつけられた 400 字分までを朗読する。制限時間は 4 分。4 分 30 秒を超えると 1 点減点である。語音、声調、停頓、断句などについて、減点方式で評価される⁽¹¹⁾。

但、この 50 篇の朗読材料は測試に使用する目的で選ばれたため初出との校勘を行っていないし、主に字数を調整する目的で原作に削除を加えたりしてある⁽¹²⁾、という。

具体的に作品を挙げて ABB 式形容詞について考えてみよう。次に掲げるのは「作品 9 号」の最初の部分である。

喂猪的老头儿在墙根靠着，笑盈盈地看着他的两头小白猪变成小金猪了。他刚想说：“你们也变了……”旁边走来一个乘凉的人，对他说：“您老人家必要高寿，您老是金胡子了。”

天空的云从西边一直烧到东边，红彤彤的，好像是天空着了火。

这地方的火烧云变化极多，一会儿红彤彤的，一会儿金灿灿的，一会儿半紫半黄，一会儿半灰半百合色。

この作品は萧红《呼兰河传》の一部である⁽¹³⁾。

「朗読材料」が何を底本にしたかは不明であるが、この部分は語文教科書によく採られている⁽¹⁴⁾。

《萧红全集》本との異同はいくつかあるが、次の ABB 式形容詞についてのみ、《大綱》と比較してみよう(上記下線部分)。

《大綱》		《全集》
笑盈盈		笑盈盈 (改変なし)
红彤彤	←	红堂堂

金灿灿 ←— 金洞洞

《大纲》の詞語が蕭紅の原作より規範的とされたがゆえの書き変えであろう。

だが、このうちの“笑盈盈”と“红彤彤”の注音が問題なのである。《大纲》には多くの受験参考書とも言うべき指南書やテープが出版されているが、それぞれのこの部分の注音が必ずしも同じではない。それ以外に注音の混乱している詞語として“软绵绵”(作品5号)がある。次に指南書等におけるこの3つの詞語の注音を見てみよう。

A. 刘照雄主编《普通话水平测试大纲(修订本)》吉林人民出版社、1994年11月

笑盈盈 注音なし 红彤彤 注音なし 软绵绵 注音なし

B. 《普通话水平测试大纲(修订本)》テープ第22巻、吉林人民出版社音像出版部⁽¹⁵⁾

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng 软绵绵 ruǎnmiānmiān

C. 北京市语言文字工作委员会编《普通话水平测试指南(增订本)》京华出版社、1997年8月

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng 软绵绵 注音なし

D. 本书编写组编《普通话水平测试应试训练教程》湖南师范大学出版社、1998年3月

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng 软绵绵 ruǎnmiānmiān

E. 浙江省语言文字工作委员会编《普通话训练与测试》浙江摄影出版社、2001年4月

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng 软绵绵 ruǎnmiānmiān

F. 《语言文字周报》第894号(2001年4月11日)の拼音

この号には作品9号全体の拼音及び主な詞語の「詞語提示」が掲載されている。

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng

これだけ見ればBの朗読テープのみが混乱の原因のようであるが実はそうではない。次に主な辞典の注音を見てみよう。

a. 《汉语叠音词手册》四川辞书出版社、1990年9月

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng 软绵绵 ruǎnmiānmiān

b. 《后缀形容词例解词典》江苏教育出版社、1993年9月

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng 软绵绵 ruǎnmiānmiān

c. 《现代汉语重叠形容词用法例解》商务印书馆、1996年12月

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng 软绵绵 ruǎnmiānmiān

d. 《现代汉语规范用法大词典》学苑出版社、1997年5月

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng 软绵绵 ruǎnmiānmiān

e. 《汉语叠音词词典》南京大学出版社、1997年7月

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng 软绵绵 ruǎnmiānmiān

f. 《应用汉语词典》商务印书馆、2000年1月

笑盈盈 xiàoyíngyíng 红彤彤 hóngtóngtóng (見出し語は“红通通”)

软绵绵 ruǎnmiánmián

このような混乱は A の《大纲》が注音を加えていないことも一因かもしれないが、実は《大纲》の常用用語と《现代汉语词典》の注音も必ずしも一致していないのである。

3. 《大纲》と《现代汉语词典》

《普通话水平测试大纲(修订本)》の「普通话(口语和书面语)常用词语」から ABB 式形容詞を列記し、《现代汉语词典·修订第 3 版》(《现汉 3 版》)と略記)の注音と比較してみよう。

《大纲》「表一」は国家对外汉语教学领导小组办公室と汉语水平考试部が出した《汉语水平词汇与汉字等级大纲》によるもので、その用語 8454 条に基づいて試験が行われている⁽¹⁶⁾。

この《大纲》「表一」に収められている ABB 式形容詞は

3352 静悄悄 jìngqiāoqiāo

のみで、注音は《现汉 3 版》と同じである。

次に《大纲》「表二」の用語は 15467 条で《现汉 3 版》から選んだものであるが、その読みは《普通话异读词审音表》によっているとされる⁽¹⁷⁾。

ところが《大纲》の注音と《现汉 3 版》の注音が一致しないものがある。

次に《大纲》「表二」所収の ABB 式形容詞を列記し、《现代汉语词典》と対比させてみる。また、変化を知るために《现代汉语词典》の版本による違いを掲げる。

まず、《大纲》と注音が同じものは次の通りである。

矮墩墩 àidūndūn, 颤巍巍 chànwēiwēi, 潮呼呼 cháo hūhū, 沉甸甸 chéndiāndiān, 臭烘烘 chòuhōnghōng, 臭乎乎 chòuhūhū, 喘嘘嘘 chuǎnxūxū, 滴溜溜 dīliūliū, 顶呱呱 dǐngguāguā, 干巴巴 gānbābā, 光溜溜 guāngliūliū, 光秃秃 guāngtūtū, 好端端 hǎoduānduān, 黑糊糊 hēihūhū, 黑压压 hēiyāyā, 黑油油 hēiyóuyóu, 红扑扑 hóngpūpū, 黄澄澄 huángdēngdēng, 灰溜溜 huīliūliū, 灰蒙蒙 huīmēngmēng, 活生生 huóshēngshēng, 火辣辣 huǒlālā, 娇滴滴 jiāodīdī, 紧巴巴 jǐnbābā, 懒洋洋 lǎnyāngyāng, 泪汪汪 lèiwāngwāng, 冷冰冰 lěngbīngbīng, 冷飕飕 lěngsōusōu, 凉飕飕 liángsōusōu, 亮晶晶 liàngjīngjīng, 亮堂堂 liàngtāngtāng, 绿油油 lǜyóuyóu, 乱纷纷 luàn fēnfēn, 乱哄哄 luàn hōnghōng, 乱糟糟 luàn zāozāo, 慢腾腾 màn tēngtēng, 明晃晃 míng huǎng huǎng, 怒冲冲 nù chōngchōng, 暖烘烘 nuǎnhōnghōng, 轻飘飘 qīngpiāopiāo, 热辣辣 rèlālā, 软绵绵 ruǎnmiánmián, 傻呵呵 shǎhēhē, 湿淋淋 shīlīnlīn, 水汪汪 shuǐwāngwāng, 香喷喷 xiāngpēnpēn, 笑眯眯 xiàomīmī, 笑嘻嘻 xiàoxīxī, 血淋淋 xiělīnlīn, 羞答答 xiūdādā, 眼巴巴 yǎnbābā, 眼睁睁 yǎnzhēngzhēng, 硬邦邦 yìngbāngbāng

異同のあるものを次に掲げる。数字は《大纲》「表二」所収用語の番号である。また 4465 及び 7679 の《现汉试用版》は見出しに取られている漢字表記が、このようになっていることを表わす。——はその用語が見出しに採られていないことを表わす。

		大纲	现汉 3 版	现汉 78 年版	现汉 试用版
196	白茫茫	báimāngmāng	báimángmáng	báimāngmāng	báimāngmāng
197	白蒙蒙	báimēngmēng			——
1705	赤裸裸	chilǜluǒ	chilǜluǒ	chilǜōluǒ, 又 chilǜluǒ	chilǜōluǒ, 又 chilǜluǒ
3946	孤零零	gūlínglíng	gūlínglíng	gūlínglíng	gūlínglíng
4465	红彤彤	hóngtōngtōng			红通通
5160	假惺惺	jiǎxīngxīng	jiǎxīng·xīng	jiǎxīng·xīng	jiǎxīng·xīng
6148	空荡荡	kōngdàngdàng	kōngdàngdàng	kōngdāngdāng, 又 kōngdàngdàng	kōngdāngdāng
6423	乐呵呵	lèhēhē			——
7291	蔫呼呼	niānhūhū			——
7677	胖墩墩	pàngūndūn			——
7679	胖呼呼	pànghūhū			胖乎乎
11847	喜洋洋	xǐyángyáng	xǐyángyáng	xǐyāngyāng	xǐyāngyāng

この表で判るように、ともに規範を重視しながら《大纲》と《现汉 3 版》の注音が異なるものがある。しかも《大纲》のなかでも BB が同じ“洋洋”であるにもかかわらず、6386 は yāngyāng であるのに対し、11847 は yángyáng である。

また、この「混乱」と言ってもよい不統一は《现代汉语词典》の版本の違いを見ることによっても知ることができる。

ところで、《大纲》は現代漢語の常用される ABB 式形容詞を網羅しているわけではない。

次に《大纲》に収められていないものを含めた ABB 式形容詞について《现代汉语词典》の版本比較によって注音の改変状況を見てみよう。

4. 《现代汉语词典》の版本による異同

《现代汉语词典》の版本は次の A から E を扱う。

- A. 中国科学院语言研究所词典编辑室编《现代汉语词典（试用本）》商务印书馆、1973 年 5 月初版⁽¹⁸⁾（《现汉试用版》と略記）。
- B. 中国社会科学院语言研究所词典编辑室编《现代汉语词典》商务印书馆、1978 年 12 月⁽¹⁹⁾（《现汉 78 年版》と略記）。
- C. 中国社会科学院语言研究所词典编辑室编《现代汉语词典》商务印书馆、1983 年 1 月第 2 版⁽²⁰⁾

規範化と普通話水平測試 (辻田正雄)

光闪闪	guāngshǎnshǎn	guāngshǎnshǎn	——	——
黑沉沉	hēichénchén		hēichénchēn	——
黑茫茫	hēimángmáng	hēimāngmāng	——	——
红艳艳	hóngyànyàn		hóngyànyàn	——
黄灿灿	huángcàncàn		huángcàncàn	——
灰沉沉	huīchénchén	huīchēnchēn	——	——
金灿灿	jīncàncàn		jīncàncàn	——
金闪闪	jīnshǎnshǎn	jīnshǎnshǎn	——	——
空荡荡	kōngdàngdàng		kōngdāngdāng, 又 kōngdàngdàng	kōngdāngdāng
空洞洞	kōngdòngdòng	kōngdōngdōng	——	——
空落落	kōngluòluò		kōngluōluō	kōngluōluō
乐陶陶	lètáotáo		lètáotáo	lètáotáo
泪涟涟	lèiliánlián	——	——	——
亮闪闪	liàngshǎnshǎn	liàngshǎnshǎn	——	——
闷沉沉	mēnchénchén	mēnchénchén	——	——
闷沉沉	mènchénchén	mènchénchén	——	——
面团团	miàntuántuán		miàntuántuán	miàntuántuán
明闪闪	míngshǎnshǎn	míngshǎnshǎn	——	——
暖融融	nuǎnróngróng	nuǎnrōngrōng	——	——
暖洋洋	nuǎnyángyáng	nuǎnyāngyāng	——	——
平展展	píngzhǎnzhǎn	——	——	——
气昂昂	qì'áng'áng		qì'áng'áng	qì'áng'áng
雾沉沉	wùchénchén	wùchénchén	——	——
喜洋洋	xǐyángyáng		xǐyāngyāng	xǐyāngyāng
香馥馥	xiāngfùfù		xiāngfūfū	xiāngfūfū
阴沉沉	yīnchénchén	——	——	——
圆鼓鼓	yuángǔgǔ	yuángǔgǔ	——	——
圆滚滚	yuángǔngǔn	yuángǔngǔn	——	——
直挺挺	zhítǐngtǐng		zhítǐngtǐng, 又 zhítǐngtǐng	zhítǐngtǐng, 又 zhítǐngtǐng

① 《现汉试用版》と《现汉 78 年版》の比較。

《现汉 78 年版》は基本的には《现汉试用版》を踏襲しており、それほど大きな改変はない。

《现汉 78 年版》で新たに追加されたものは次のとおりである。

白皑皑 黑沉沉 红艳艳 黄灿灿 金灿灿

また、注音についてはほとんど試用版と同じであるが“空荡荡”のみ

kōngdāngdāng→kōngdāngdāng, 又 kōngdàngdàng

と一読（陰平）から両読（陰平と本調）に変更されている。

② 《现汉 78 年版》以降、《现汉 3 版》まで注音に変化のないもの。

白皑皑 bái'ái'ái 红艳艳 hóngyànyàn 黄灿灿 huángcàncàn
 金灿灿 jīncàncàn 乐陶陶 lètàotáo 面团团 miàntuántuán
 气昂昂 qì'áng'áng

③ 《现汉 78 年版》で両読であったが、《现汉 3 版》で本調になったもの。

赤裸裸 →chīlǜlǜ 赤条条 →chìtiáotiáo 恶狠狠 →èhěnhěn
 空荡荡 →kōngdàngdàng 直挺挺 →zhítǐngtǐng

④ 《现汉 78 年版》で陰平であったが、《现汉 3 版》で本調になったもの。

白茫茫 →báimángmáng 孤零零 →gūlínglíng 黑沉沉 →hēichénchén
 空落落 →kōngluòluò 喜洋洋 →xǐyángyáng 香馥馥 →xiāngfùfù

⑤ 《89 年补編》で収められ《现汉 3 版》も注音が同じもの。

光灿灿 guāngcàncàn 光闪闪 guāngshǎnshǎn 金闪闪 jīnshǎnshǎn
 亮闪闪 liàngshǎnshǎn 闷沉沉 mēnchénchén 闷沉沉 mēnchénchén
 明闪闪 míngshǎnshǎn 雾沉沉 wùchénchén 圆鼓鼓 yuángǔgǔ
 圆滚滚 yuángǔngǔn

⑥ 《89 年补編》で陰平であったが、《现汉 3 版》で本調に改められたもの。

黑茫茫 →ēimáng máng 灰沉沉 →huīchénchén 空洞洞 →kōngdòngdòng
 暖融融 →nuǎnróngróng 暖洋洋 →nuǎnyángyáng

⑦ 《现汉 3 版》で新たに収められたもの。

泪连连 lèiliánlián 平展展 píngzhǎnzhǎn 阴沉沉 yīnchénchén

乙のケースの前に、《现汉 3 版》で削除されたものを見ておこう。

BB が陰平に変わるものとして《89 年补編》で新たに収められながら、《现汉 3 版》で削除された ABB 式形容詞は 40 余りあるという⁽²⁷⁾。

その主なものにたとえば次のものがある。

	现汉 3 版	89 年补編	现汉 78 年版	现汉试用版
矮笃笃	——	ǎidūdū	——	——

白闪闪	_____	báishǎnshǎn	_____	_____
软洋洋	_____	ruǎnyāngyāng	_____	_____
笑盈盈	_____	xiàoyīngyīng	_____	_____

これらが《現漢 3 版》で削除された理由は不明である。BB が陰平に読まれるかあるいは本調で読まれるかが決め難いということということなのか、詞語としての安定度が低いという判断からなのだろうか。前出“笑盈盈”の注音の混乱も《89 年補編》から《現漢 3 版》への変化にその一因がありそうである。

次に丙のケースについて。

B が陰平でない単音字あるいは多音字で、BB の注音が陰平（本調でない）であるものは次の 37 である。

白晃晃	báihuānghuāng		绿莹莹	lǜyīngyīng	
碧油油	bìyóuyóu		绿油油	lǜyóuyóu	
沉甸甸	chéndiāndiān		慢腾腾	mànténgténg	
骨碌碌	gǔlùlù	(89 年補編)	毛茸茸	máorōngrōng	
黑洞洞	hēidōngdōng		明晃晃	mínghuānghuāng	
黑油油	hēiyóuyóu		清凌凌	qīnglínglíng	
黑黝黝	hēiyōuyōu		热辣辣	rèlālā	
红彤彤	hóngtōngtōng		热腾腾	rèténgténg	
黄澄澄	huángdēngdēng		软绵绵	ruǎnmiānmiān	
火辣辣	huǒlālā		湿淋淋	shīlīnlīn	
金晃晃	jīnhuānghuāng		湿漉漉	shīlùlù	
金煌煌	jīnhuānghuāng		水淋淋	shuǐlīnlīn	(89 年補編)
懒洋洋	lǎnyāngyāng		文皱皱	wénzhōuzhōu	
蓝盈盈	lánīngyīng		雾茫茫	wùmāngmāng	(89 年補編)
亮堂堂	liàngtāngtāng		乌油油	wūyóuyóu	
亮锒锒	liàngzēngzēng	(89 年補編)	笑吟吟	xiàoyīnyīn	
乱蓬蓬	luànpēngpēng		血淋淋	xiělīnlīn	
乱腾腾	luànténgténg		直瞪瞪	zhídēngdēng	(89 年補編)
绿茸茸	lǜrōngrōng				

【89年補編】以来収められているものを(89年補編)と注記してある。注記のないものはすべて【現漢78年版】より収められているものである。

これを見ると、BBがたとえば“油油”、“洋洋”などは陰平に読まれて、言語の「感性的理解にかかわる」⁽²⁸⁾部分を担っていると言えそうだが、果して実際の読まれ方はどうなのだろうか。

5. 調査

北方口語のなかではBBは一般に陰平に読まれると言われるが⁽²⁹⁾、北京地区で行われた調査の結果は必ずしもそうと言えないものであった⁽³⁰⁾。

調査は李志江らによって1998年10月に北京で行われた。調査対象は小学校高学年児童、中学生、高校生、大学生各50人、計200人。調査方式はアンケート方式で漢字表記のABB式形容詞のBB部分を陰平に読むか本調で読むかを、各自の読む方をチェックするというものである。調査結果は次の通りである。

ABB式 形容詞	調査総人数に占めるパーセント			
	陰平 に 改読	改読しな い	両読を 可とする	無回答
白晃晃	11	89	0	0
碧油油	10	88	2	0
沉甸甸	37.5	57	4	1.5
骨碌碌	71.5	21	6	1.5
黑洞洞	7.5	90.5	2	0
黑油油	19.5	76	4	0.5
黑黝黝	32.5	66	1	0.5
红彤彤	56	39.5	4.5	0
黄澄澄	35	56	6	2
火辣辣	5	91	4	0
金晃晃	4	95	1	0
金煌煌	9	90.5	0.5	0
蓝盈盈	14	85	1	0
懒洋洋	4.5	93	2	0.5
亮堂堂	13.5	82.5	3.5	0.5

亮铮铮	68	27.5	4.5	0
绿茸茸	4	95	0	1
绿莹莹	9	87	2.5	1.5
绿油油	14.5	77.5	6.5	1.5
乱蓬蓬	43.5	49.5	6.5	0.5
乱腾腾	40.5	54	4.5	1
慢腾腾	78.5	13.5	8	0
毛茸茸	4	92.5	2.5	1
明晃晃	5	94	0	1
清凌凌	19	78	2	1
热辣辣	6.5	90	2.5	1
热腾腾	42.5	51.5	5.5	0.5
软绵绵	3.5	92.5	2	2
湿淋淋	14	82	2.5	1.5
湿漉漉	14.5	82	2.5	1
水淋淋	19.5	76	3.5	1
乌油油	29.5	63	6.5	1
雾茫茫	4.5	92.5	1	2
笑吟吟	23.5	71.5	2.5	2.5

血淋淋	11.5	82.5	5	1	直瞪瞪	24.5	70.5	4	1
-----	------	------	---	---	-----	------	------	---	---

この調査結果を見る限り、《現漢3版》でBBが陰平に改読されると注音のあるものであっても、実際には多くの詞語について本調で読まれる比率の方が高いことになる。

6. 結語

BBの発音が混乱している一因は1985年12月に修訂された《普通話异读词审音表》がかなり大幅で明確に規範を定めたものであるにもかかわらず、ABB式形容詞の注音については明記していないことによる⁽³¹⁾。

ABB式形容詞が、あるいは陰平に変調したりあるいは本調で読まれたりするの、結局のところ各人の語感や風格や語気によるところが大きく、そしてこの点を大前提としたうえで、口語か文言かによって変調するか本調かの違いが生じる、とされる⁽³²⁾。

だが、文字の影響が決定的であろう。つまり、変調した音声としての詞語が文字に書かれることによって文字の本調で読まれるようになるのは自然の勢いであろう。ABB式形容詞のうち口語的性格の強い詞語が、それにもかかわらずその発音で書かれた文字の影響を強く受けている例として“红彤彤”の扱いを見てみよう。“彤”には“tóng”の音しかないので“彤彤”が陰平に変調するのか本調で読まれるのかを見ていく一例とするためである⁽³³⁾。

《第一批异形词整理表》⁽³⁴⁾によれば、“hóngtóngtóng”の表記は、“红彤彤”が規範詞形で、“红通通”は淘汰される詞形である。その根拠は、主として《人民日报》の1995年から2000年の間での使用頻度が 红彤彤（44件）——红通通（5件） と、このようにはっきりと差がついていることである⁽³⁵⁾。

㉑ 《現漢3版》

红彤彤 hóngtóngtóng、也作红通通。

㉒ 《现代汉语规范字典》语文出版社、1998年4月。

彤 tóng ▷红一一。

㉓ 《小学生规范字典》语文出版社、1999年5月。

彤 tóng ▷红一一。

㉔ 《应用汉语词典》商务印书馆、2000年1月。

红通通 hóngtóngtóng、也作红彤彤。

㉕ 《新华词典》商务印书馆、2000年1月修订第3版。

红彤彤 彤(tóng)

上記㉒㉓のように「字典」として親字“彤”の項で“红彤彤”を採る以上、自然と本調になるだろう。それに対して㉑㉔のように「詞典」の場合は、“hóngtóngtóng”の音が定着して

いるかどうかが問題になるのであろうし、それをどう表記するか、つまりどの文字を用いるのが問題となろう。そして㊦が本調を注音とするのもおそらく㊢㊣が本調を注音とするのと同じ理由であろう。

ABB 式形容詞の発音は正式の場合、たとえば中央人民广播电台などでは本調で読まれることが多いという⁽³⁶⁾。力強く、ゆっくりと原稿を読み上げる場合は文字の影響が極めて大きい。それゆえ本調で読まれることが多くなるものと思われる。

既に見てきたように、変調せず本調で読むのは趨勢となっていると言えるだろう。ただこの趨勢はまだ定着するまでにはいたっていないと思われる。辞書類の記述の不統一、記述の変遷がそのことを示している。

普通話水平測試の語音の評定基準が全体として厳しいものであるにもかかわらず、ABB 式形容詞の変調については比較的ゆるやかであるのは、変調から本調へという趨勢を認めつつもいまだ過渡期であるとして、強制的に一方に定めることはむしろ規範化工作ひいては普通話の推進に不利との考えからと思われる。規範化工作が、一方で理念を追求しつつ、一方で着実に現実を反映させようとしている証左でもあろう。

【注】

- (1) 陈旻等编著《普通话水平测试教程》 东南大学出版社、1997 年 8 月、P.1「序」(鲁国尧 執筆)。
- (2) 測試及びその厳格さを中心とした内容については、拙稿「『普通话水平测试大纲』について」『文学部論集』第 86 号(佛教大学、2002 年 3 月)を参照。
- (3) 陈旻等编著《普通话水平测试教程》(前出)所收《普通话水平测试要点》P.2。
- (4) 吕叔湘《现代汉语八百词》商务印书馆、1980 年 5 月第 1 版、P.638。1999 年 1 月增订版、P.717。
- (5) 萩野脩二「中国「新时期文学」における ABB 型形容詞について」『人文論叢』4 号(三重大学人文学部、1987 年 3 月)、萩野脩二『中国“新时期文学”論考』(関西大学出版部、1995 年 9 月)所収。
- (6) 相原茂、韩秀英『現代中国語 ABB 型形容詞逆配列用例辞典』くろしお出版、1990 年 4 月、P.i。その他、A と BB の搭配及び BB の性格を中心に考察したものに、王吉輝《形容詞 ABB 式研究二題》(《词汇学丛稿》中央文献出版社、2001 年 7 月、所収)がある。
- (7) 宋欣桥《“普通话水平测试”评分中的几个问题》《语言文字应用》1997 年第 3 期 [8 月]。また、これに一部修正を加えたものが次に収められている。
国家语言文字工作委员会等编《普通话水平测试的理论与实践》 商务印书馆、1998 年 9 月、P.110。
- (8) “ruǎnmiánmián”あるいは“ruǎnmiánmián”の誤記あるいは誤植であろう。
- (9) 冒国华《略说播音员的语音修养》《语言文字周报》第 881 号(2001 年 1 月 10 日)。
- (10) 《汉语拼音小报》编辑部《2001 年、〈汉语拼音小报〉更名为〈语言文字周报〉》《语言文字周报》第 880 号(2001 年 1 月 3 日)。
- (11) 陈旻等《普通话水平测试教程》(前出)所收、《普通话水平测试要点》P.2
- (12) 刘照雄主编《普通话水平测试大纲(修订本)》吉林人民出版社、1994 年 11 月、《朗读材料》「说明」。
- (13) 初出未見。《萧红全集》哈尔滨出版社、1991 年 5 月、P.730、に拠る。
- (14) 叶圣陶等编《开明新编国文读本》にも収められているが、一部異同がある(经济日报出版社、2000

年6月版を使用)。

- (15) Aに対応したテープであると思われるが、録音時期や発行日などの記載はない。作品5号及び作品9号の朗読は李綱、審聴は吳弘毅である。
- (16) 刘照雄主编《普通话水平测试大纲(修订本)》吉林人民出版社、1994年11月、P.36。
- (17) 刘照雄主编《普通话水平测试大纲(修订本)》吉林人民出版社、1994年11月、P.148。
- (18) 龍溪書舎1977年7月影印の『復刻版 現代漢語詞典 [特装版]』を使用。
- (19) 1978年12月修訂第2版、1979年1月北京第1次印刷本を使用。
- (20) 1986年1月北京第70次印刷本を使用。
- (21) 1984年8月北京第3次印刷本を使用。
- (22) 1996年7月北京第184次印刷本を使用。
- (23) 《現代漢語詞典》の各版については同《前言》の他、次のものを参照。
 ㊦刘庆隆《〈現代漢語詞典〉編寫紀事》《辭書研究》1984年第2期[3月]。
 ㊧晁繼周《〈現代漢語詞典〉修訂述略》《語文建設》1995年第2期。
 ㊨韓敬體《〈現代漢語詞典〉修訂工作概述》《辭書研究》1997年第1期。
 ㊩楊文全《近百年的中國漢語語文辭書》巴蜀書社、2000年3月、P.303-P.324。
- (24) この版が出版された時、1973年の「試用本」を第1版として1978年を「修訂第2版」と称していた。その後、1979年本に「組み版の破損により新たに排版する必要が生じた」際、「いくらかの条目に多少の修正を加えた」という。1983年1月にこれが出版された時以来、1978年12月第1版、1983年1月第2版、とする。
- (25) 異同は主としていくつかの詞語の積義の部分である。韓敬體《論〈現代漢語詞典〉釋義的一般原則》《辭書研究》1993年第5期[9月]を参照。
- (26) 李志江《ABB式形容詞中BB注音的聲調問題》《語文建設》1998年第12期。以下の拙稿の論点は多くをこの論文から着想を得ている。
- (27) 牟曉明《關於ABB式形容詞的讀音》《語文建設》2001年第2期。
- (28) 相原茂、韓秀英『現代中國語ABB型形容詞逆配列用例辭典』くろしお出版、1990年4月、Pi。
- (29) 周一民《北京口語語法(詞法卷)》語文出版社、1998年10月、P.121。
 呂叔湘主編《現代漢語八百詞》商務印書館、1980年5月第1版、P.637。1999年1月增訂版、P.716。
- (30) 李志江《ABB式形容詞中BB注音的聲調問題》《語文建設》1998年第12期。
- (31) 本社編《語言文字規範手冊(1997年重排本)》語文出版社、1997年9月、P.234-P.267。また、徐世榮《普通話異讀詞審音表釋例》(語文出版社、1997年5月)所收《關於〈普通話異讀詞審音表〉的幾個問題》を参照。
- (32) 殷作炎《普通話語流音變探幽三題》《語文建設》1996年第7期。
- (33) 似たケースとして“黃澄澄”の発音が各種の辞典や語文課本によって混乱していることを扱ったものに下記がある。
 ・傅庆萱《「黄澄澄」到底该咋读?》《文汇报》2001年3月5日→《文摘报》2001年3月11日轉載。
- (34) 2001年12月19日發布、2002年3月31日試行。《光明日報》2001年12月28日、《人民日報》2002年1月20日。
- (35) 《〈第一批异形詞整理表(草案)說明〉》《語文建設》2001年第11期。
- (36) 林廉《談形容詞ABB重疊形式的讀音》《語文建設》1992年第12期。

〔付記〕 本稿は、平成14年度佛敎大學特別研究費の助成による研究成果の一部である。

(つじた まさお 中国語中国文学科)
 2002年10月16日受理